

(様式) 令和7年度 那珂川町立小川中学校 学校評価報告書

評価項目	評価	取組状況・成果・課題	改善策	学校関係者評価等でいただいた意見等
各学校での目標(重点は○数字)・具体策				
<b>I 特色ある学校づくりのための学校運営</b>				
①ふるさとを学ぶ機会の充実 ・地域の特色を生かした総合的な学習の時間を推進する。	A	・1年生の「郷土の歴史」で那珂川町の歴史を知り、理解をすることができた。特に「たたら製鉄」体験はとても効果大きい。	・1学年で「郷土の歴史」2学年で「郷土の職業」3学年で「地域との共生」について那珂川町とより連携した探究活動を進めていく。地域コーディネーターと連携協力して進めていく。	「たたら製鉄」は、那珂川町の歴史を身近に感じるには、とても効果があると思うので、ぜひ継続してほしい。
②「感動」を生む体験活動の推進 ・教科横断的な視野で体験活動を効果的に取り入れる。学年間の連携を密にし、「感動」を生む体験活動を推進する。	A	・すずかけ祭や球技大会では多くの生徒が真剣に、かつ笑顔で活動できた。合唱コンクールでは、生徒が涙を流すなどの感動的な姿も見られた。球技大会は生徒会主催で行い、生徒主体の活動が実践できた。	・行事などを通して道徳や学活とリンクさせながら指導していく。 ・合唱コンクールでは、生徒が涙を流すなど感動的な場面が見られたので、更に多くの生徒が本気で臨める行事になるよう教師側からの企画や支援をしていく。	あじさいホールで「すずかけ祭」を行って、生徒にとっても貴重な経験となった。保護者にも好評だった。
<b>II 確かな学力の向上を図る学習指導</b>				
①国語教育の充実 ・基礎基本の充実を図る。 ・各教科のまとめ等の文章力(記述力)の育成を図る。	A	・フロンティアタイムの有効的な活用を図った。問題選びやeライブラリを活用した家庭学習の強化をした。 ・記述に関しては他教科でも指導していく。(誤字脱字、言い回しなど)	・教師から考察やまとめ、振り返りなどの文章を確認し、その都度、指導助言して生徒個人の記述力を高めていく。フロンティアタイム等で生徒自身の成長のようすを自己理解できるようにしていく。	タブレット使用に関してネットリテラシーを高めるための指導をお願いします。
2家庭と連携した基礎的基本的内容の定着 ・家庭学習の定着が図れるよう、学習の記録等を有効活用する。	B	・計画帳が形骸化している。家庭学習に対して家庭との温度差がみられる。	・保護者と連携して基礎基本の定着を図ることで学習習慣も定着していく。 ・学年PTAの際に、学習について意見交換する。	家庭学習でタブレットを使用することに効果があるようなので、より効果的な利用方法を検討してほしい
<b>III 自己指導能力を高める児童・生徒指導</b>				
①教育相談の充実と組織的対応の確立 ・生徒指導、教育相談、特別支援の各担当が連携を密にして組織的な対応に努める。 ・専門機関との連携を図る ・話し合い活動を充実する。	A	・すずかけサポートルーム開設により、不適応生徒への対応が充実してきた。 ・コミュニケーションを実施し、生徒の話し合いのスキルが高まった。 ・積極的な教育相談を実践していることで生徒の不安の早期解消につながった。	・すずサポートルームの体制を継続する。月と金も対応教師の配置希望。 ・担任ローテーションを継続することにより、学年の生徒理解に努める。 ・毎週木曜日に生徒指導の打合せをすることにより、配慮生徒の共通理解につながる。	小中交流会はとてもよかったと小学生から好評です。小学校から中学校への不安を少なく出来ると思うので、小中連携の機会を増やすよう、是非検討してほしい。
②キャリア教育・進路指導の充実 ・生徒自らの意思で自己の生き方や進路を選択できるように、十分な資料を提供し、適切な指導援助を行う。	B	・高校説明会を全学年生徒、保護者対象として情報提供を行った。 ・キャリアパスポートの計画的実践が課題。	・全学年生徒、保護者対象の高校説明会の実施。 ・年度当初のキャリアパスポートの実践に関しての共通理解を図る。	高校説明会を全学年対象として実施するのはとても良かった。
<b>IV 健康・安全、体力の向上</b>				
①施設・設備の安全管理 ・生徒とともに安全点検を行い、完全管理と安全教育を実践する。	A	・生徒とともに安全点検と教職員の安全点検の場所のローテーションを行い、生徒も教職員も危険箇所の共通理解が得られた。複数の目で確認しチェック機能が高まった。	・安全点検を通して、生徒の危機予知能力の育成・向上にも手立てを考え実践する。 ・安全点検を実施している様子を周知していく。(保護者や地域に向けて)	危険箇所を生徒と共有するのは、効果が高く先生方の注意喚起にもつながる。冬、校門付近に塩化カルシウムをまくのは、地域貢献にもつながる。
②安全教育・防犯教育の充実 ・教育活動全般を通して生徒の「防犯」「防災」「交通安全」についての資質能力を高める。 ・効果的な避難訓練を実施する。 ・SNSの安全な利用について講習会等を実施する。	B	・交通安全教室、自転車点検、避難訓練を実施し、生徒の安全意識高揚と、それぞれのスキルの習得に役立った。 ・SNS利用に関しては講習会を実施し、学級でも時事的な問題を取り上げるなどしてその都度指導した。	・避難訓練実施時に先生方の役割分担に課題が残った。水曜日に実施するように計画を立てる。 ・SNS利用時の写真や動画の投稿に関しての重大さを、その都度確認し指導していく。(情報モラル講座)	AED研修を先生だけでなく、生徒も実践できるとよいと思うので、ぜひ、保健体育や学活などで御指導をお願いします。
<b>V 家庭・地域との連携</b>				
①コミュニティスクールの効果的運営 ・学校運営協議会や地域学校協働本部を機能させる。	B	・学校運営協議会や地域学校協働本部の周知と理解の不足が課題。 ・学校運営協議会の熟議に生徒会役員が参加して地域の方と意見交換ができた。	・先生方にも学校運営協議会に参加するなどして、当事者意識を醸成する。 ・生徒会役員と地域の方の他の多様な交流場面も検討する。	ホームページ掲載の他、熟議の結果(模造紙)を教室の廊下等に掲示すれば保護者、地域の方の考えを生徒に知ってもらい良い機会にもなると思います。
2家庭・地域と連携した基本的生活習慣の育成 ・学校、家庭、地域が協同で生徒への援助ができるように連携を密にする。	A	・不適応対応として、校内教育支援センターの開設運営により、不適応生徒への対応ができた。 ・アンケートの結果より、家庭学習の取り組みに課題がある。	・特に不登校対応として、家庭と学校と校内教育支援センターや町教委との連携をとって今進めていることを継続していく。 ・SC、SSW、町教委相談員とも連携をとり、生徒への支援を継続していく。	すずサポート利用の生徒もリモート等で学習に取り組んでいるのが素晴らしいです。

・評価項目の評価欄は、各学校で設定した目標等の評価を総合的に評価して記入してください。  
・各学校の目標については、できるだけ分かりやすく記述してください。